

14.5-189



1200501215196

14.5
189

查資料第四輯

橫濱港重要貿易品解說

(其二)

(生絲、絹織物)

橫濱商業會議所調查部



始



横濱港重要貿易品解説 (其一)

郵寄贈本

目次

第一 生 絲

一、生絲の生産	： 一
(1)本邦生絲類生産高表	： 一
(2)器械生絲製造戸數釜數及生産高	： 一
(3)各府縣別生産高	： 一
二、生絲貿易	： 一
(1)横神兩港生絲輸出額	： 一
(2)主要仕向地別輸出額	： 一
(3)米國生絲種類別消費高	： 一
(4)本邦輸出生絲に對する競争國	： 一
三、生絲輸出關係機關	： 九
(1)生絲輸出商	： 九
(2)生絲賣込問屋並に蠶絲仲次商	： 九
(3)生絲取引關係組合	： 九
四、生絲の格付、銘柄及荷造	： 一四
(1)格付及銘柄	： 一四
(2)荷造	： 一四
(3)運賃及保險料	： 一四
五、生絲の消費	： 一七



即ち一定の工場を設け原動機並に繰糸器械を据え付け、多數の職工を集め大規模に生産せらるゝものである。而して座繰糸は家庭内に座繰器又は足踏器等を設け、家族又は少數の雇人に依つて極めて小規模に生産せられるものであるが、農家の副業として各地に行はれ其額相當に上つて居る。

玉絲は取引上の區別であつて玉繭（二以上の蠶兒に依る結繭）を原料として製絲せられたるものであつて、其の品質は他の生絲に比較して著しく劣つて居り、従つて其の消費も内地向絹織物用である尙右生絲産額を地方別に觀れば生絲、屑物共に長野一頭地を抜き、生絲二百十九萬六千二百七十四貫、屑物百十二萬八千二百三十五貫を算し、之に次で生絲に於ては愛知、群馬、埼玉、山梨、福島、岐阜、山形の順位である。又屑物にありては長野、愛知、京都、山梨、群馬、福島、兵庫、埼玉の順位である。

今是等各種生絲の生産額を示せば

(1) 本邦生絲類生産高表 (農林省統計)

年次	器械絲	座繰絲	玉絲	合計	價額
大正八年	五、一六八、四七五	五、三三、四七七	六、七、八二五	六、三三九、七二二	九、九、九七、一七〇
同九年	四、八六九、四三三	五、二、〇三七	四、四三、三九五	五、八三三、八四〇	五、七〇、四八八、八二六
同十年	五、二八、〇四四	四、九、七〇〇	五、三、〇五三	六、三、八、七六六	五、九五、三九六、三二九

更に之を器械絲に就て見るに

年次	製造戸數	釜數	生産高	生産價額
同十一年	五、五、三、三八	三、六、〇、〇一	四、七、五、六五	七、七、一、〇、六、二〇四
同十二年	五、八、三、六五三	四、〇、九、〇八四	五、二、四、〇〇四	七、九、五、九、四、〇、六三三
同十三年	六、六、九、三七一	四、四、〇、三三四	五、四、七、四二五	八、三、七、三、〇、六七七
同十四年	七、三、一、三六〇	四、六、一、七一九	五、九、一、七七八	九、六、〇、五、三、一、八七七

(2) 器械生絲製造戸數釜數及生産高 (農林省統計)

年次	製造戸數	釜數	生産高	生産價額
大正八年	四、三、一、一	二、七、七、四七	五、一、六、八、四七五	七、九、〇、一、三、四、六三〇
同九年	四、四、七、一	二、八、五、一、四七	四、八、六、九、四三三	五、〇、四、二、三、八、八四九
同十年	五、〇、六、七	二、八、七、二、六七	五、二、一、八、〇、四四	五、二、一、〇、四、三、九四
同十一年	三、七、三、六	二、八、三、一、八四	五、五、五、六、三、三八	六、五、三、〇、二、六、〇、八三
同十二年	三、七、三、五	二、七、七、三、七	五、八、三、三、六、五三	七、三、三、四、八、三、六九
同十三年	三、六、七、四	二、七、一、一、四二	六、五、九、三、七、一	七、六、四、四、八、八、七三
同十四年	三、六、四、三	二、七、五、三、六	七、三、一、三、六、〇	八、七、七、六、〇、三、七、五

(3) 各府縣別生産高 (農林省統計 大正十四年)

地方名	(イ) 器械絲		順位
	數量	價額	
長野	二、一、四、七、三、二、四	二、五、六、五、六、五、七、五、四	一
愛知	五、四、〇、九、〇、六	六、四、五、二、一、五、六、八	二

計 他 都 庫 重 媛 形 阜 島 梨 玉 馬

四四七、八五五
四〇三、七七七
二九七、二〇三
二五七、二二〇
二五七、四一一
二二〇、七七二
二一〇、八九九
一九二、二七八
一八三、八四九
一七〇、〇三五
一、九〇一、八三一
七、二三一、三六〇

五四、一二二、二四〇
四九、五二六、七四三
三六、五六六、四二二
三二、二二〇、二五一
三一、一九三、九三七
二七、九四五、一〇四
二五、八七八、二八二
二三、七三七、八六四
二二、九六五、八二九
二一、〇三九、八五〇
二三一、三一六、五三一
八七七、六〇〇、三七五

四
三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二

地方名 長野 愛知 京都 山梨 群馬 福島 兵庫 埼玉

一、二二八、二三五
二九八、四五六
一六六、九〇六
一六三、二四五
一六二、五八二
一四八、八七〇
一三七、九七五
一三三、七四二

七、四五三、〇九一
三、二一一、二七一
七一八、五六三
一、三五八、九五八
一、六三六、八五一
一、〇九五、九二三
八三六、五五五
一、七三一、九二九

一 二 三 四 五 六 七 八

二、生絲貿易

本邦に於ける生絲の輸出は横濱開港以來の事に屬し、爾來六十有餘年間時に多少の消長はあつたが益々發展し特に最近著しき發展をなした。即ち維新當初横濱市場は年額百萬圓内外の輸出額に過ぎなかつたが、最近六億圓以上に達し比較的短時日の間に世界の歴史に殆ど實例を見ざる長足の發達をなしたのである。而も一面生絲輸出が殆ど全部外商の手にあつた時代より、今日其八割有餘が邦商の手にて取扱はるゝに至る迄驚くべき變化を閲したのである。

今明治元年以來の本邦生絲輸出額を見るに

年次	數量	價額	百斤の平均價格
明治元年	一、二〇八、四九九	六、四二四、六五八	五三二
同 十 年	一、七二四、〇九一	九、六二九、七五六	五五九
同 廿 年	三、一四七、三四〇	一九、三九一、九三六	六一五
同 卅 年	六、九一九、八六一	五五、六三〇、四六〇	八〇四
同 卅 四年	九、三五四、三六一	一一六、八八六、六二七	一二五〇
同 卅 六年	二五、八二八、九八五	三五五、一五五、〇三四	一、三七三
同 卅 八年	三四、四一九、二〇〇	六七〇、〇四七、五四二	一、九四八
同 卅 九年	二六、三二八、〇〇〇	五六六、一六九、二九八	二、一五〇
同 四十 年	三七、二五六、四〇〇	六八五、三六五、五三七	一、八四〇

同	十四年	四三、八四四、九〇〇	八七九、六五七、〇八八	二、〇〇六
同	十五年	四四、二九七、八〇〇	七三四、〇五二、四四八	一、六五七

而して右生絲の輸出は殆ど横濱、神戸兩港の司る所であつて、大正十一年以降大正十五年に至る輸出額は

(1) 横神兩港生絲輸出額

年次	横濱		神戸		合計	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額
大正十一年	三三三、七六八	六九、七七一	一五、一九〇	三、一九三	三三三、〇六〇	六九、七七一
同十二年	三五、九〇〇	四九、五九六	四九、一四九	八、四四六	三三、五〇〇	五八、〇四二
同十三年	三三、三五五	五六、八八九	四九、一四九	八、四四六	三三、五〇〇	五八、〇四二
同十四年	三六、六五五	八五、五六六	七、七四五	一四、三七一	四六、四四九	八九、六六七
同十五年	三二、〇五五	六〇、九六六	八〇、九三三	一三、三三四	四三、九六九	七四、〇五二

(2) 主要仕向地別輸出額 (單位千圓)

本邦に於ける生絲の仕向地は北米合衆國を主とし、總輸出額の七割乃至八割五分を占め、次で佛蘭西一割内外である。即ち本邦生絲の顧客は米、佛、英の順位である。

國名	大正十一年		大正十二年		大正十三年		大正十四年		大正十五年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
米國	六〇、五四四	四八、三三三	四八、三三三	三、九四六	五三、八八八	六、六三三	七六、二七三	四三、四三三	五三、五六一	三三、〇八八
佛國	五五、一九二	七、五九二	七、五九二	六、七三三	五、六四〇	七、〇三三	二、五〇四	一、五六一	二、〇六六	二、〇六六
英國	二、八七七	三、八九九	三、八九九	三、八九九	一、八九六	元	一、五六一	元	二、〇六六	二、〇六六
伊太利	三、三三三	元	元	元	元	元	元	元	元	元
加奈陀	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元
其他	七三三	三、五〇三	二、〇三三	二、五〇四	六、六一	二、六九九	一、三三八	三、三三三	一、八二六	三、三三三

(3) 米國生絲種類別消費高 (單位俵)

生絲の消費國は前述の如く北米合衆國第一位を占め、其の供給國は左表に示す如く日本よりの供給額は他諸外國に比し異常の數額を表はして居る。

種別	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年
日本生絲	三一九、一四七	二五四、八五六	三四一、四九五	四〇四、九九六	四二一、〇八八
歐洲生絲	三、四九三	一三、六八四	五、七七四	一〇、四二二	六、一九六
廣東生絲	四四、一三八	四三、二一八	二四、二四四	二二、五四九	二一、七九九
支那生絲	二一、六四八	三一、二九八	一一、一六九	四五、八〇五	四七、〇〇二
柞蠶絲	三、五六四	七、一四六	四、九九三	五、八六二	八、一一五
計	三九一、九九〇	三〇五、二〇二	三八七、六七五	四八九、六三四	五〇四、二〇〇

(4) 本邦輸出生絲に對する競争國

本邦生絲の輸出額は前述の通り他諸外國の輸出額に比し常に優勢の地位を占め、今日尙依然として其の状態を持續して居るのである。今世界の生絲生産高を見、現在及將來に於て日本と競争の地位にある相手國を檢するに

世界主要國生絲生産高 (單位千封度) (米國絹業協會)

國名	大正十年—十一年	大正十一年—十二年	大正十二年—十三年	大正十三年—十四年
伊太利	七、〇六六	八、二三四	一〇、八〇三	一一、五八五
佛蘭西	四三〇	四三七	五六二	七三九
上海	六、九九三	八、六二八	八、六九七	八、八一七
廣東	五、七三五	七、〇五〇	六、〇一八	六、五五〇
日本	四〇、九八二	四一、五四一	三八、一〇〇	五四、〇六四

【註】支那に於ける生絲の生産高は不明であり、而も上海よりの生絲輸出高中には柞蠶絲を含ます。

即ち右表に依り其の生産高を見るに日本に次て支那は其の額多きのみならず、上海生絲の如き其品質日本物に比較して可良なるを以て、將來日本の蠶絲業に影響あるべきを容易に豫想し得らるゝのである。

殊に現在佛蘭西に於ける絹業原料として使用せらるゝ生絲の五割は支那絲であり、日本絲は僅かに一割五分に過ぎず。

尙蠶絲競争品として人造絹絲の發展は注目せられつゝある重大問題である。

米國人造絹絲生産高及輸入高

年次	生産高		輸入	
	封度	數量	封度	價額
大正十一年	二四、四〇六	二、〇八七	三、九〇八	三、七一〇
同十二年	三五、三八〇	三、九〇六	六、七三八	六、〇三一
同十三年	三七、七一九	一、七一一	二、二九四	五、五八
同十四年	五一、八〇八	七、〇〇〇	八、一七〇	九、九三

三、生絲輸出關係機關

(1) 生絲輸出商

生絲輸出商は生絲賣込問屋を通じ大部分の輸出生絲を購入するも、一部は得意先の製絲家より買染み絲として保證し、同製絲場へ前資金を貸付け、地方工場にて輸包装し直接引取り輸出しつゝあるもので、現在横濱に於ける主なる生絲輸出商は

- 三井物産株式會社(山下町一七七)、日本棉花株式會社横濱支店(山下町一八四)、合名會社鈴木商店横濱支店(本町五ノ七三)、旭シルク株式會社横濱支店(本町四ノ六三)、日本生絲株式會社(本町四ノ五八)、原合名會社輸出部(辨天通三ノ四九)、江商株式會社横濱支店(本町一ノ一四)、日米生絲株式會社横濱支店(太田町二ノ三六)。

(2) 生絲賣込問屋並に蠶絲仲次商

生絲賣込問屋は製絲家又は地方荷主の委託を受け、一定の報酬の下に蠶絲類を生絲輸出商に賣込むことを營業とするもので、而も製絲家に對しては製絲資金の供給をなし特別の關係を有するものである。生絲賣込問屋の手數料及前貸金立替金に對する金利は各問屋間にて協定せらるゝ所なるも、事實は割戻の如き方法に依り荷主の爭奪をなしつゝ、あるの現状である。現在横濱に於ける主なる生絲賣込問屋は

・株式会社小野商店(辨天通一ノ二〇)、澁澤義一商店(本町三ノ五一)、原合名會社(太田町三ノ四九)、合名會社小野商店(南仲通四ノ七五)、小川勝三郎(辨天通四ノ七四)、井上定吉(本町一ノ一一)、日米生絲株式會社横濱支店(太田町二ノ三六)、株式會社田中商店(本町二ノ二八)、株式會社木村商店(辨天通二ノ三二)、渡邊文七(辨天通二ノ二八)、株式會社奥村商店(境町一ノ七)、片倉製絲紡績株式會社横濱出張所(山下町一九八)、神榮生絲株式會社横濱支店(本町三ノ四一)。

次に蠶絲仲次商は直接生絲の輸出に關係せず、單に蠶絲貿易商並に荷主と買主との間にあつて賣買取引の媒介を營業とするものである。現在横濱に於ける主なる仲次商は

松文商店(本町四)、齋藤市太郎(本町四ノ六五)、小林常三郎商店(本町三)、小川合名會社(本町三)、大正合資會社(辨天通四)、津田商店(南仲通二)、西野商店(南仲通二)、日本絹織株式會社横濱出張所(南仲通四)。

(3) 生絲取引關係組合

横濱蠶絲貿易商同業組合

本組合は明治三十一年十二月の設立に係り、本市に於ける各種の蠶絲業者に依つて組織せられ、其の事業の主なるものは蠶絲の出入を調査し、統計を作成し、製絲の技術的改良、不正屑物の取締、商標の偽造其の他不徳行爲の懲戒、賣買上に於ける調停であつて、生絲貿易の上に貢献しつゝあるは云ふ迄もない。現在同組合員は

株式會社小野商店(辨天通一ノ二〇)、若尾幾太郎(本町四ノ六三)、原合名會社(太田町三ノ四九)、三井物産株式會社横濱支店(山下町一七七)、合名會社小島商店(南仲通四ノ七五)、井上定吉(本町一ノ一一)、日米生絲株式會社横濱支店(太田町二ノ三六) 日本生絲株式會社(本町四ノ五八)、伊藤合名會社(辨天通四ノ七六)、渡邊文七(辨天通二ノ二八)、小野辰貿易株式會社(辨天通三ノ四五)、株式會社奥村商店(境町一ノ七)、齋藤市太郎(本町四ノ六五)、日本綿花株式會社横濱支店(山下町岩井ビルディング)、時澤儀三郎(辨天通一ノ一五)、木本藏之助(山下町一四三)、合資會社九十絹業商會(辨天通三ノ四二)、澁澤義一(本町三ノ五一) 山田駒吉(本町四ノ六二)、小川勝三郎(辨天通四ノ七四)、中澤五三郎(辨天通一ノ一六)、株式會社阿部商店(本町三ノ四六)、株式會社田中商店(本町二ノ二八)、株式會社木村商店(辨天通二ノ三二)、數野賢吉(元濱町三ノ二〇)、合名會社岩倉商店(南仲通三ノ四六)、片倉製絲紡績株式會社横濱出張所(山下町一九八)、古銀治幸太郎(相生町一ノ二四)、江商株式會社横濱支店(本町一ノ一四)、湧川合名會社(南仲通三ノ四七)、根岸本治(常盤町一ノ三)、和正三(相生町五ノ七六)、株式會社菅川商會(山下町二一〇)、上海瀛懋洋行横濱出張所(常盤町三ノ三一)、神榮生絲株式會社横濱支店(本町三ノ四一)、株式會社鈴木商店横濱支店(本町五ノ七三)、淺川竹治(山下町一七六)、渡邊鶴三郎(南仲通四ノ六一)、合名會社西村商店(南仲通一ノ九)、旭シルク株式會社横濱出張所(本町二ノ二三)、上甲貿易株式會社(山下町六三)、森山金輔(太田町一ノ九)、三立合名會社(元濱町一ノ三)、矢島善七(辨天通三ノ五四)、丸山合名會社(山下町一九)、福澤龜彌(境町一ノ七)、山十製絲株式會社横濱出張所(太田町二、十五ビルディング)。

横濱蠶絲仲次商同業組合

前述の如く蠶絲賣取引の媒介を營業とする蠶絲仲買商を以て組織し、營業上の弊害を矯正し信用保増を目的とするものである。現在の同組合員は

- 糸井梅次郎(相生町三ノ四七)、石黒直次郎(南仲通四ノ六〇)、合名會社西村商店(南仲通一ノ九)、西野菊之助(南仲通二ノ三五)、川橋重二(辨天通三ノ四四)、鑄木近之助(南仲通二ノ三五)、梶原覺三(南仲通四ノ七〇)、大正合資會社(辨天通四ノ六二)、田邊甲午次(南仲通三ノ四〇)、田中恒則(西戸部町七〇七)、津田徳三郎(南仲通二ノ二五)、中川敬之助(南仲通三ノ四六)、大澤辰三郎(南仲通四ノ六九)、倉澤泰平(住吉町二ノ二二)、矢部善一郎(南仲通三ノ四六)、丸小商店(南仲通四)、小林常三郎(本町三ノ四九)、小林益治(南仲通一ノ九)、小林合名會社(本町三ノ四七)、古鍛冶幸太郎(相生町一ノ二四)、小成文三(太田町一ノ九)、株式會社江原商店(本牧和田一三一九)、青木次郎(南仲通三ノ四八)、足立藤十(藤田町東谷六七九)、淺野安三郎(辨天通三ノ四五)、秋山喜六(北方小港一〇八)、齋藤市太郎(本町四ノ六五)、佐藤福太郎(辨天通三ノ五一)、御國絹絲合資會社(辨天通四ノ七七)。

横濱外國人生絲屑絲商組合

本市在住の生絲屑物の輸出を業とする外人に依つて組織せられ、紐育及里昂の生絲市場と通信を交換しつゝあり。同組合員は

- チー・オ・エヤー商會(G. Audoyer山下町一〇九)、ヘル・マーモント商會(L. Barmont & Cie同九)、チヤイナ・エント・ジヤン會社(China & Japan Trading Co., Ltd.同八九)、コンポト・ヴァン・ヤール商會(Comptoirs Soies同九)、コーン・ス・商會(Cornes & Co.同八一)、デノオロ商會(Dell Oro & Co.同九二)、ジョ・ユ・リ・ネ商會(P. Dourille & Co.同二六四)、ミー・ハー・ル商會(C. Eymard & Co.同二六三)、ギョナ・ル・マル・ク・イン・ボー・テ・ン・グ商會(General Silk Importing Co., Inc.同九〇一〇)、ジヤード・ン・ヤン・ン會社(Jardine Matheson & Co., Ltd.同二一)、シニヤ・エ・ト・エ・ン・ト商會(Jewett & Bent同二六四)、フ・ア・ヤール・リ・ベ・ト

- 商會(Madier, Ribet & Cie 同九)、ナブホルツ商會(Naholz & Co. 同九五)、ヒラ商會(Pla & Co. 同九)、シヨイーネー商會(Schoene & Co. 同二六四)、ミー・セル・ク・ナー商會(Sibel Hegner & Co. 同九〇一八)、シムク・エント・セネラル・トレイディング會社(Silk & General Trading Co., Ltd. 同二九五)、エフ・ストレーラー商會(F. Strahler & Co. 同九四)、ソルザール・ドルフ商會(Sulzer Rudolph & Co. 同二五五)、ケンネス・ウ・ケル・ン・ン商會(Kenneth Wilson 同四三)、イーザル・ワイカー商會(E. Zellweger & Co. S. A. 同九〇一〇)、ダブリン・エ・イ・ロウ・キ・君(Mr. W. D. Biecke 同二八四)。

横濱蠶絲業探訪同志會

毎日市場の手合を會員相互にて探訪し、其日の市況並に賣買の實情を毎月二回生絲問屋別に在荷表及入荷表を作成し之を知らしめつゝあり。

農林省横濱生絲検査所

生絲検査の成績を公表し、斯業の改良發展を促すと共に當業者の希望に依り、手数料を徴せず生絲の検査をなし値引上の便益と圓滑を圖りつゝあり。

生絲輸出商同業會

本會は大正十五年三月の設立に係り、設立日尙は淺きを以て未だ實績を擧ぐるに至らざるも現在左の業務を執りつゝあり。

- (一) 生絲輸出に關する商工業の發達

- (二) 海外市況の調査並に販路の擴張
- (三) 生絲に關する法令の調査、建議請願
- (四) 諸官廳の諮問答申

尙現在の會員は旭シルク株式會社、原合名會社輸出部、三井物産株式會社橫濱支店、日本生絲株式會社、江商株式會社橫濱支店、日本棉花株式會社橫濱支店、株式會社鈴木商店橫濱支店。

四、生絲の格付、銘柄及荷造

(1) 格付及銘柄

生絲は同一工場に於て同一品種の繭より同一品質のものを目標として製造する場合に於てすら、全然同一品質の生絲を製出し得るは甚だ困難である。況や其生産地方に依り、或は製絲工場の相異に依り其品質外觀に差異あるは云ふ迄もなく、右は原料繭、水質、技術、製法、製絲目的に依つて生ずる結果であつて、之を銘柄と呼稱する所である。又之を價格に依つて階級を明に區別したものを生絲の格と云ふ。

銘柄及格付の内容は實際取引上多年の間に定められたるもので、従つて其の區別は科學的に明かな

るものではない。

現在橫濱市場に於て行はるゝ格付には優等、羽子板、毬、矢島の四格であつて、從來の八王子、武州、信州格は品質の向上に依つて消滅したと共に優等格以上のもの、例へば優等何拾圓と稱するものが出來た。(但し格付の向上は果して名實相伴ふものなりや否やは疑問である)

右の格付は要するに賣買の大體の標準に止まるものであつて、實際の取引相場は肉眼的に又は機械的に一々其品質を檢定した上にて相場を定むるものである。即ち橫濱に於ては今日國立の生絲檢査所がある外に輸出商が橫濱に於て生絲を買入れ、輸出をなす場合は機械檢査所と鑑定所とを設置し、専門家を使用して一々檢査をなし之に依つて相場を決定し取引を了するのである。

(2) 荷造

梱装を洋俵に改装す。即ち一括(五七〇匁)宛を文庫紙に包み、二十八括乃至三十括(百斤)を金巾の袋に入れ口を封じて麻繩にて縛り、更に澁紙又は油紙にて包みたる上、青アンペラにて内装し合せ目を縫ひ、更に黄アンペラにて外装せるものを麻絲にて縫ひ合せ、最後に麻繩を四方に掛け緊縛す。而して右輸出生絲の重量關係を見るに

洋俵一俵の内容
 { 一俵ノ括數……………二十八括—三十括入
 一俵正味量……………正味一〇〇斤(一擔)

洋俵と梱装の比 洋俵一俵は梱造り一梱八分に相當す
洋俵一俵重量及容積は

一俵重量 { 總量一〇七斤半
正味一〇〇斤 (一三二、二七七三封度一六〇、〇〇〇〇〇觔)
風袋七斤半 }
一俵容積 長三呎三吋、幅二呎一吋、厚一呎一吋

(3) 運賃及保險料

運賃 (日本郵船會社横濱支店)

横濱、シャートル 百封度に付 (Gross weight) 四弗五〇

シャートル、紐育 同 汽車賃 九 弗

保險料

一、〇〇〇圓に付 危險の程度に應じ 二圓七十錢 二圓四十三錢 二圓十九錢
海上 一〇〇圓に付 十二錢五厘一十五錢



五、生絲の消費

本邦に於ける製絲家約十八萬六千戸に依つて製絲せらるゝ生絲は約八百三十萬貫に達し、右の内約七割は海外輸出向であり、三割は國內に於て消費せらるゝの現状である。今參考の爲め生絲の内國消費地附近の所在驛に到着したる數量を見れば

主要驛生絲到着數量 (單位噸)

地名	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年
伊勢崎	一三六	五〇	八二	一八九	一七七
桐生	六八二	八六一	九九七	一一二	九八〇
前橋	三九〇	四八六	六一八	七四六	八四二
足利	三〇四	三〇八	二四二	二四三	二五四
金澤	一、〇二二	一、〇三九	一一一五	八七二	一、〇〇一
八王子	六五二	六八三	六九七	五六五	六九九
大聖寺	四七〇	四九五	六〇〇	四九四	五七三
小松	二六二	二六四	二九六	二七二	二八〇
福井	一、七五二	一、六三七	一、五九〇	一、二二四	一、三八五
武生	一四〇	一四〇	一九四	一七一	二二二
鯖江	二六七	二四九	三一四	二七三	一七三
綾部	九六四	一一九一	一、四三六	一、四四二	一、六五八
梅小路	一、七二三	一、七八四	二、二三四	一、〇二二	九三三

第二 絹織物

一八

一、絹織物の生産

本邦に於ける絹織物並に其の交織物の産額は歐洲戦前には壹億五千萬圓内外なりしに、戦時中海外向輸出額俄かに激増し、従つて其生産額は大正八年に於て八億圓に達し、最高記録を示すに至つた。然るに翌九年三月の財界パニックに依り従來の取引慣習は破壊され、現金取引の契約は履行されず、僅かに其の當座の契約に依る生産をなすもの、又は見込生産をなすものはあつても其の製品が他日需要に適するや否や不安に陥り、剩へ原料の騰貴甚だしく爲めに安じて生産し能はざる状態に陥り、當業者の廢業又は休業或は操業を短縮するもの續出するに至つた。従つて其の生産は減少したのである。爾來財界不況の爲め年々漸減しつゝあるの現状である。

(1) 絹織物生産額 (農商務、商工省統計)

年次	絹織物	絹綿交織物	合計
大正元年	一一七、四二六、二八六	二九、八四二、〇三二	一四七、二六八、三一八
同 五年	一六〇、〇八三、八八八	三六、六六〇、五二七	一九六、七四四、四一五
同 八年	六七三、九三七、三六六	一三〇、六四三、〇七〇	八〇四、五八〇、四三六

同 十一年	四二一、五五一、一三四	一〇四、〇九一、一五三	五二五、六四二、二八七
同 十二年	四〇五、一五〇、七四五	九一、八一六、九八一	四九六、九六七、七二六
同 十三年	四二五、七〇四、一〇八	九一、五三三、六四〇	五一七、二三七、七四八
同 十四年	四一三、七九四、四〇五	七六、五五一、三九二	四九〇、三四五、七九七

(2) 府縣別絹織物生産高並機械臺數

大正十四年に於ける絹織物生産額は絹織物四一三、七九四、四〇五圓(八割四分)、絹綿交織物七六、五四八、〇九二圓(一割六分)である。更に之を地方別に見れば京都の七七、四〇六、四四二圓最も高位にあり。次で福井、石川、群馬、東京、埼玉、山梨、山形、新潟、岐阜、栃木の順位である。尙同年末に於ける絹織物及絹綿交織物の機業戸數一一〇、五五四戸、機臺數二二二、二二一臺である。

機業戸數は五臺未満のもの大多數であつて、總數の九割五分を占め、其の他は五臺以上十臺未満のもの、十臺以上五十臺未満のもの及五十臺以上のもの總てを合して漸く五分に過ぎず。而も機臺數に於ては五臺未満の小機業者の使用するもの亦最も多く、總數の六割三分を占め、其の他は三割七分に過ぎず。従つて手織機に比し其の數著しく多きを知る。

(3) 絹織物生産高並に機臺數 (大正十四年商工省統計)

一九

岐 靜 愛 三 滋 京 大 兵 奈 和 島 島 岡 廣 山 德 香 愛 高 福 佐 長
歌

阜 岡 知 重 賀 都 阪 庫 良 山 取 根 山 島 口 島 川 媛 知 岡 賀 崎

一六、四七四、九四七	一六、六二二、七六一	九、五、六八六	六、六一五、三二八	一〇〇、五三三、四八六	二〇四、六二四	一、六二〇、六一三	五〇、八八〇	六、一五六	三九、九七八	九四、五二三	四九七、二七一	二六〇、〇一三	一一、六〇〇	二一、四三〇	二、九〇〇	一八一、四一五	二七一、九八六	二、七五八、一一八	三六、二三三	一一二、六二八
三、七二三	二、七二九	一、三	一九六	一〇、七一四	一〇二	一〇二	七	二	五	二〇	三三	三三	二四	四	一	二二	二九	三三六	二八	五一
三、二四八	三、二二六	七、〇〇一	一、三〇八	二二、五六八	二四	一、〇八五	二六	六	一一	二〇	六九二	四六二	四六二	四六二	四六	四六	四一	一、五七九	四九	二七
五、一三九	四、六八七	二八	六八八	一七、六七七	二四	一三八	一三	三	四	四九	八〇	一八五	三一	一四	一	六六	四一	一、五七九	八八	二一
八、三八七	三、三七二	八、二六三	四四	二六、二一〇	三九	一、七三四	五二	八	一五	六九	七七二	六四七	三一	一四	一	一一二	一八一	一、七〇〇	四九	一一五

北 海 道
青 森 道
岩 手 縣
宮 城 縣
秋 田 縣
山 形 縣
福 島 縣
茨 城 縣
栃 木 縣
群 馬 縣
千 葉 縣
東 京 府
神 奈 川 縣
新 潟 縣
富 山 縣
石 川 縣
福 井 縣
山 梨 縣
長 野 縣

道 森 手 城 田 形 島 城 木 馬 玉 葉 京 川 湯 山 川 井 梨 野

八、一五八	二四、七〇九	四二、九一〇	六五六、九二九	一一〇、六一〇	一六、八七九、五九〇	八、七七六、二八六	二、二五〇、七二三	二〇、六八〇、四五五	五五、一七八、二六二	二二、九六七、六九四	二九三、八四六	三三、〇六二、四五〇	一、六八七、〇五三	一六、二二五、七七六	七、一七七、七〇〇	五二、四五九、六八九	六八、五六八、七四六	一八、二六二、五九二	一、八九七、九〇四
八	一八	一〇七	一三五	七	四、二八五	一、九八八	八九四	六、四二二	二九、二四一	一五、〇九三	三一四	三、二九九	一、一九八	三、四一〇	六一五	五五八	八〇二	八、九〇八	一、九九三
六	一〇	一五二	二二	二二	七、二一二	二、三三九	三二	二、二二八	六、九六一	二、三三四	六五	九、四〇四	六一五	五、〇八九	一、七九四	一六、三二〇	一六、一三五	六、三九三	四六二
三	二〇	一二五	一九六	一二六	四、六四二	二、一〇〇	一、四二三	七、七六四	三三、〇九三	一七、七六八	四二〇	三、八七四	一、二六三	三、九〇六	九二二	三四七	七六一	六、二四六	二、三一八
九	二〇	一三五	三四八	一四八	一一、八五三	四、四三九	一、四五五	九、九九二	四〇、〇五四	二〇、一〇二	四八五	一三、二七八	一、八七八	八、九九五	二、七〇六	一六、六六七	一六、八九六	一二、六三九	二、七八〇

生 産 額

機 業 戶 數

機 織 機

臺

手 織 機

二〇

計

地名	數量	價值
熊本	九三、三〇一	二二
大分	六五、二二三	一〇八
宮崎	五八、三〇九	四三
鹿兒島	八、六八七、七七五	七四
沖繩	三七八、三〇五	一八、五六四
合計	四九〇、三四二、七九七	一、九九七
十三年合計	五一七、二五七、七四八	一三八、八二三
		一四八、七九二

(4) 主要府縣別輸出貨物生產高 (自大正十三年七月至大正十四年六月)

地名	數量	價值
福井	一、二六四、五二二	六一、四四七、八四七
石川	二四六、四三二	三四、四六五、四五八
群馬	一四六、〇〇九	一一、八四四、〇〇五
山形	七二、四三八	六、〇四八、五二九
栃木	三五、一五五	四、六七七、八四七
富山	三六、二九四	二、二六二、八三八
福島	一、二一八	八五六、五四三
京都		一六三、二七八
合計		一二一、七六六、三四五

(5) 絹織物及絹綿交織物種別生產額

種別	生產額
絹織物	一四、三〇六、四四八
絹綿交織物	二二、五一三、〇七四
合計	一四、一〇〇、六〇四

(6) 絹織物生產額地方別順位

地方	生產額
京都	七七、四〇六、四四二
群馬	四六、九〇八、九六六
山梨	一八、一九一、二八四
岐阜	一二、二九六、九一三
愛知	八、六八四、〇二七
長野	五、四七三、四七二
兵庫	一、八八九、九七五
高知	一、四二二、九六九
岡山	二七一、三七〇
秋田	一二六、七八三
三重	一〇六、四四〇
宮崎	八九、五六六
佐賀	五二、四九九
德島	三三、二六一
青森	一一、五五二
福井	六六、一六〇、六三六
東京	三一、三一〇、二〇九
山形	一六、七六二、九六二
山梨	九、六二四、一七三
富山	七、〇五七、一五九
石川	四、一三三、八三七
滋賀	一、七五四、七六八
福岡	六五二、七三二
神奈川	二五七、三五一
愛媛	一一、九三七
大分	九一、四三七
熊本	八九、五〇九
大分	四二、二五四
山口	三〇、二六三
北海道	九、一三〇
石川	五〇、八一八、四七五
埼玉	一九、七三六、〇九二
新潟	一二、五三六、五五七
福島	八、七七五、六八九
滋賀	六、一七五、八四〇
神奈川	二、一五六、五二七
神奈川	一、六八四、四九三
沖繩	三五四、九七四
愛媛	一七六、一六三
大分	一一〇、五〇八
熊本	九〇、七八六
大分	六四、六四〇
山口	三九、九七八
山口	一一、六四九
北海道	八、一五八

一、絹織物貿易

本邦に於ける絹織物の輸出状況を見るに歐洲戰以來俄かに増加し、大正八年には生産額の増量と共に其の輸出額は壹億七千參百萬圓の最高記録を示すに至つた。然るに大正九年に入つて一般財界の不振に伴ひ漸次減少の傾向を辿り、輸出貿易に一頓挫を來たした。爾來著しく輸出不振となり而も羽二重、縞子、シツホン、絹紬、富士絹、縮緬類は多く生地のみ輸出せられ、染色品又は變り物即ち高等織物と稱すべきものは輸出絹織物の一割乃至二割を出でざる程度にある状況である。

現在に於ては優等絲の多くは海外に輸出せられ、是等織物に使用せらるる原料生絲の大部分は二等品以下に屬するものなるが故に、絹織物として優良なる品位を有せざるは固より、染色加工の技術に至つては遠く佛米のそれに比し劣等なるは免れざる所である。

世界に於ける絹織物の需要は逐年増加しつゝあるに拘らず、前述の通り日本物の輸出は漸次減少しつゝあり。其の原因は各需要國に於ける自國絹絲工業保護の爲め關稅の障壁を高め、米國の如きは從價五割五分の高稅を課するに加へ、近來尙ほ未だ物價の減少率低く従つて生産費も相當に嵩み、彼地に於ける類似品に壓迫せらるゝが爲め日本物の値が賣り崩さるゝの状態にある。

今日米國市場に於ける本邦絹織物として命脈あるは單に絹紬あるのみにて、若し此儘に放任せらるゝならば到底各國と競争の位置に立つ迄に進歩すること不可能であつて、營業者の之に對する方策を講究するは今日最も急務を要する問題である。

(1) 絹織物輸出高

年次	絹織物	絹製品	計
大正元年	三〇、一〇〇、九七九	六、三三九、〇九〇	三六、四四〇、〇六九
同五年	五〇、六三一、七七八	五、六二三、九二六	五六、二五五、七〇四
同八年	一六二、四七六、四〇九	一〇、四四八、三一一	一七二、九二四、七二二
同十一年	一〇七、九二八、三六七	四、九五八、四〇五	一一二、八八六、七七二
同十二年	九二、三一六、八八一	三、六一九、一三三	九五、九三六、〇一四
同十三年	一二五、八四〇、四二二	五、九九四、三五二	一三一、八三四、七七三
同十四年	一一六、九八四、五二八	四、一七二、三三四	一二一、一五七、〇一〇
同十五年	一三三、〇七〇、五〇五	二〇九、二〇五	一三三、二七九、七一〇

(2) 絹織物品種別輸出高

品種	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年
品	一〇一、六九八、八〇八	九二、三三三、九三三	一〇三、五五八、〇九二	一〇三、四九二、四四七	一〇三、〇五三、三三九	一〇三、〇九六、九四四	一〇三、八三三、四四三	一〇三、六三三、七三二
羽二重	四三三、五五〇	三三三、六六二	七五、八九一	六八、九一	八四、六二	七五、五五	一〇六、四六	一八九、三三
早織	一〇、九四九、〇七	九、八八六、七六	七、二八、四五	九、九、七三	七、三三、九	九、四七、四七	八、三三、六	八、七、六
子								

琥珀織	1,755,590	1,740,055	756,147	904,632	677,092	644,432	741,556	1,032,448
シッホン	1,037,923	537,733	1,561,633	2,114,821	1,861,833	2,091,945	1,761,561	3,006,680
絹紬及富士絹	1,454,664	2,178,521	2,381,051	2,659,655	3,394,131	4,748,566	5,179,377	5,566,999
壁織及縮絹	2,770,635	2,793,180	1,078,509	3,191,388	8,995,845	2,565,022	1,912,150	2,746,893
其他の絹織物	4,732,109	5,106,681	3,788,572	1,604,045	3,362,444	5,197,900	1,252,922	881,966
合計	12,722,409	12,266,409	8,925,952	12,728,367	22,368,811	25,845,000	12,694,561	23,077,505

(3) 絹織物輸出先別輸出高

國別	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年
總額	12,722,409	12,266,409	8,925,952	12,728,367	22,368,811	25,845,000	12,694,561	23,077,505
支那	3,491,871	3,331,956	4,059,076	2,569,466	2,110,955	2,793,244	1,980,210	2,151,448
關東	1,271,011	656,972	600,568	391,143	443,800	343,377	400,877	477,711
香港	422,035	351,377	391,101	310,988	109,443	481,443	422,552	631,440
英領印度	1,490,449	2,499,444	6,033,646	9,561,322	6,881,033	3,561,689	2,655,722	2,985,600
海峽殖民地	871,344	691,955	661,006	544,533	281,040	1,151,777	1,768,350	2,344,644
蘭領印度	1,633,169	1,777,977	1,851,633	1,276,008	221,722	1,500,982	2,033,361	2,355,455
比律賓諸島	464,022	656,146	466,644	477,966	221,133	551,688	1,155,680	1,447,911
英吉利	281,926	296,649	1,333,566	20,577,788	12,900,226	25,845,355	16,479,449	16,982,444
佛蘭西	1,546,356	9,752,892	4,637,511	8,390,444	5,767,753	1,076,082	6,949,443	6,376,225
伊太利	—	70,886	27,225	1,266,574	206,897	1,136,777	91,292	806,326
北米合衆國	3,072,160	4,188,489	3,557,442	2,633,820	2,125,227	3,644,444	2,077,135	2,663,633
加奈陀	21,492,643	9,482,260	6,922,028	6,833,522	4,485,943	7,511,442	10,059,901	14,084,633

南米諸國	5,233,876	2,247,924	1,427,011	—	—	3,159,288	2,561,611	1,533,066
阿弗利加諸國	3,540,688	6,344,326	2,695,093	3,247,111	2,674,447	4,922,304	6,040,333	7,006,156
濠太刺利	9,301,956	1,970,688	10,933,899	1,783,863	1,419,355	3,282,663	2,668,689	3,046,495
新西蘭	1,928,662	2,983,655	846,222	2,050,350	1,109,101	1,544,010	1,303,011	1,141,330

三、横濱神戸絹織物輸出状況

本邦に於ける絹織物の輸出は横濱神戸兩港の占むる所である。而して大正十二年の關東震災前迄は生絲と共に横濱港の獨占たりしに、震災の影響により神戸港に近き福井、石川の羽二重、富士絹並に岐阜の絹紬が地の利を占むる同港より輸出するもの激増し、大正十二年に於て横濱の六割三分が同十三年に入りて全く其の地位逆轉し、横濱は神戸の輸出額に比較して僅かに八分を占むる貧弱なる數量を數ふる状態を呈した。其後横濱市當業者は之が貿易復興に努力しつゝあり。大正十四年に於てベリツク商會、ローゼンソール商會、ビードリール商會、マーシャルフィールド商會の如き有力なる外國商館を始め邦人直輸出商として有力なる三井物産、堀越商會、三菱商事等の復歸を見ると同時に問屋加工染色側に於ても相當復興せる爲めに輸出貿易は稍々増進の傾向を辿るに至つたが、尙不振の域を脱せざるの情勢にある。

支那國名	大正十一年					大正十二年					大正十三年					大正十四年					大正十五年								
	縮緬	及	壁	織	神戶	縮緬	及	壁	織	神戶	縮緬	及	壁	織	神戶	縮緬	及	壁	織	神戶	縮緬	及	壁	織	神戶				
香港					1,300,000					1,975,000					2,000,000					2,300,000					2,500,000				
英領印度					1,875,000					1,812,000					1,800,000					1,800,000					1,800,000				
蘭領印度					3,590,000					1,200,000					1,200,000					1,200,000					1,200,000				
海峽殖民地					2,230,000					2,300,000					2,300,000					2,300,000					2,300,000				
暹羅					1,100,000					1,100,000					1,100,000					1,100,000					1,100,000				
比律賓群島					1,100,000					1,100,000					1,100,000					1,100,000					1,100,000				
英吉利					700,000					600,000					600,000					600,000					600,000				
佛蘭西					600,000					700,000					800,000					900,000					1,000,000				
北米合衆國					2,400,000					2,400,000					2,400,000					2,400,000					2,400,000				
布哇					1,400,000					1,400,000					1,400,000					1,400,000					1,400,000				
加奈陀					2,300,000					2,300,000					2,300,000					2,300,000					2,300,000				
亞爾然丁					2,600,000					2,600,000					2,600,000					2,600,000					2,600,000				
喜望峯殖民地及ナタル					600,000					600,000					600,000					600,000					600,000				
新西蘭					400,000					400,000					400,000					400,000					400,000				
濠太刺利					3,200,000					3,200,000					3,200,000					3,200,000					3,200,000				
埃及					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000				
其他及不明					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000				
絹					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000				
支那					1,950,000					1,950,000					1,950,000					1,950,000					1,950,000				

支那國名	大正十一年					大正十二年					大正十三年					大正十四年					大正十五年								
	縮緬	及	壁	織	神戶	縮緬	及	壁	織	神戶	縮緬	及	壁	織	神戶	縮緬	及	壁	織	神戶	縮緬	及	壁	織	神戶				
香港					1,300,000					1,975,000					2,000,000					2,300,000					2,500,000				
英領印度					1,875,000					1,812,000					1,800,000					1,800,000					1,800,000				
蘭領印度					3,590,000					1,200,000					1,200,000					1,200,000					1,200,000				
海峽殖民地					2,230,000					2,300,000					2,300,000					2,300,000					2,300,000				
暹羅					1,100,000					1,100,000					1,100,000					1,100,000					1,100,000				
比律賓群島					1,100,000					1,100,000					1,100,000					1,100,000					1,100,000				
英吉利					700,000					600,000					600,000					600,000					600,000				
佛蘭西					600,000					700,000					800,000					900,000					1,000,000				
北米合衆國					2,400,000					2,400,000					2,400,000					2,400,000					2,400,000				
布哇					1,400,000					1,400,000					1,400,000					1,400,000					1,400,000				
加奈陀					2,300,000					2,300,000					2,300,000					2,300,000					2,300,000				
亞爾然丁					2,600,000					2,600,000					2,600,000					2,600,000					2,600,000				
喜望峯殖民地及ナタル					600,000					600,000					600,000					600,000					600,000				
新西蘭					400,000					400,000					400,000					400,000					400,000				
濠太刺利					3,200,000					3,200,000					3,200,000					3,200,000					3,200,000				
埃及					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000				
其他及不明					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000				
絹					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000					2,500,000				
支那					1,950,000					1,950,000					1,950,000					1,950,000					1,950,000				

香港	40,000	17,500	21,250	11,000	70,000	5,900	3,800
英領印度	21,733	1,557	2,833	1,279	1,546	7,000	1,868
海峽殖民地	1	408	8,577	3,062	1,574	3,499	2,674
比律賓群島	1	4,499	1,979	3,001	4,046	5,833	5,633
英吉利	25,000	1,400	5,190	3,833	2,051	1,857	7,048
佛蘭西	3,750	1	3,377	5,092	10,451	3,599	2,362
伊太利	1,101	1	1	1	906	1	1,777
合衆國	2,667	35,500	6,400	1,030	1,603	1,944	7,925
加奈陀	1	1	9,462	1,819	140,700	20,662	2,815
亞爾然丁	1	1	3,703	1,953	1	1	1
喜望峯殖民地及ナタル	8,691	8,691	3,880	7,600	2,905	15,700	8,833
新西蘭	1	1	10,533	2,892	10,500	3,868	15,567
濠太刺利	101,566	203,566	93,891	5,042	27,899	6,492	23,727
其他	2,300,500	46,661	1,101,563	1,57,833	4,764	3,300,000	5,161
不明の分	1	1	1	1	1	1	3,852

四、絹織物取引關係

絹織物の各生産地に於ける製品は各々其の種類及特質を異にし、又種々の慣習或は個人、團體等の關係があつて何れの産地も各々特色ある販賣制度を有するも、茲には單に輸出絹織物中の大宗たる羽二重に就て見るに

(1) 取引狀況

福井地方、同地方に於ては元は有力なる製造家は同市の仲買のみに頼らず、直接横濱に出荷し便宜委託販賣をなしたものであるが、其の後横濱の主なる輸出商又は仲買者は福井市に支店或は出張所を設置せる爲め、福井地方の羽二重は總て福井市に於て取引せらるゝことゝなつた。現在同市に於ける販賣機關は仲買及問屋の二種に分れ、其の取引経路は大體に於て左の三種に分るゝのである。

- (イ) 機業家が注文品を直接問屋の店舗に搬入するもの
右取引は特別の品種又は急速を要する注文品に屬するもの。
- (ロ) 機業家より市場若しくは仲買を経由して問屋に至るもの
右取引は一般の取引順序であつて、市場は福井市を始め武生、鯖江、栗田、勝山等の産地に存在し開市當日には其の地方の機業家は自家の製品を持出し、それをば福井市より出張し來れる多數の仲買業者が一種の入札方法に依り買取るのである。
- (ハ) 市場を経由せずして機業家より直ちに仲買を経て問屋に至るもの
此の取引方法は製品を市場に出すことを好まざる機業家が自ら市場に出すの煩を避け、仲買商に販賣を委託する場合等に行はるゝのである。

以上の取引に供せらるゝ羽二重は何れも練絹即ち精練を了したるものであつて、取引單位は三十疋又は四十疋入の梱である。

金澤地方、同地方の取引方法は大体に於て前記福井地方と同じ。

川俣地方、同地方に於ては主として生絹、即ち精練を了せざる羽二重を取引に供せし爲め、横濱の輸出商或は仲買業者は直接川俣地方に出張し取引することを欲しなかつたのであるが、近年練絹取引漸次盛になりつゝあり。應ては福井地方と同じく川俣地方のものは全部同地方に於て取引せらるゝに至ることゝ思考せらる。

(2) 絹織物取引關係組合

(1) 横濱輸出絹物同業組合 本組合は輸出絹物に關する營業上の利益を増進し、其の弊害を矯正する目的を以て明治三十年當時設立せられ、現在百五十三名の會員を有し左の業務を執りつゝあり。

(一) 輸出絹物に關する商取引の改善並に製品加工、染色、精練、整理に關する技術の向上、(二) 輸出絹物に關する統計、其他内外の事情調査、(三) 商事紛争の調停並に不正競争取締。

(四) 日本輸出絹同業組合聯合會 本會は聯合組合相互の氣脈を通じ協同一致して營業上の弊害

を矯正し本邦輸出絹物の改善と其の利益を増進する目的の下に設立せられたるもので、現在左記同業組合を以て組織せらる。

横濱輸出絹物同業組合、福井縣織物同業組合、石川縣輸出織物同業組合、福島縣輸出織物同業組合、富山縣輸出絹織物同業組合、桐生織物同業組合、足利織物同業組合、羽前輸出織物同業組合、横濱輸出織物加工同業組合、横濱輸出織物染色同業組合、山梨縣北都留郡甲斐絹同業組合、山梨縣南都留郡甲斐絹同業組合、八王子織物同業組合、北相織物同業組合、西陣織物同業組合、伊勢崎織物同業組合、名古屋織物同業組合、丹後縮緬同業組合、岐阜縣絹紬同業組合、神戸貿易同業組合。

(八) 絹業試験所 現在政府に於て經營せらるゝ唯一の輸出絹織物の試験機關であつて、絹織物の製織、染色、加工、原料絲、意匠、圖案、色合等の研究をなしつゝあり。

五、絹織物鐵道輸送狀況

鐵道に依つて輸送せらるゝ絹織物の數量は年間一萬噸内外であるが、大都市附近の生産地方は鐵道便に依らず殆ど自動車にて東京其他の需要地に輸送せられつゝあるのである。今絹織物の發達數量を主要生産地所在の驛別若しくは局別に之を見るに

(1) 絹織物驛別發送噸數 (大正十四年)

名神門仙私
古
計
屋戶司臺幌

一、七四五	一、二一五	八四	一、八二九
六、二八七	七、五〇二	七、五〇二	七、五〇二
二八八	七、八	三六六	三六六
三〇二	三〇二	三〇二	三〇二
二〇六	三	二〇九	二〇九
一〇、六九四	一、五三八	一二、二三二	一二、二三二

一、七二二	一、〇四三	四九	一、七六一
七、四九九	一、〇四三	八	八、五四二
二〇二	八	二一〇	二一〇
一一一	一一一	一一一	一一一
一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
一一、九二四	一、四九三	一三、四一七	一三、四一七

東地
京名

小口
大正十四年
貨切
合計

小口
大正十五年
貨切
合計

(2) 絹織物局別到着噸數

伊勢 尾張 岐福 大 小 金 八 梅 宮 岩 共
勢 張 一 聖 王 小 計
崎 宮 井 寺 松 澤 子 路 津 瀧 他 計

小口	四六噸	四六噸	三二八噸	三二八噸	二、三五〇噸	七五九噸	二六一噸	九三六噸	三二一噸	八〇〇噸	六一八噸	三六噸	六、四九三噸	三、五二五噸	一〇、〇一八噸
貨切	七九三噸	五六九噸	一二六噸	一二六噸	一二六噸	一二六噸	一二六噸	四六噸	四六噸	四六噸	四六噸	四六噸	一、五九八噸	二九二噸	一、八九〇噸
合計	八三九噸	六〇七噸	二、四七六噸	二、四七六噸	二、四七六噸	七五九噸	二六一噸	九三六噸	三二一噸	八〇〇噸	六一八噸	三六噸	八、〇九一噸	三、八一七噸	一一、九〇八噸

小口	五二噸	五二噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸
貨切	一五、九四六噸	一五、九四六噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸	一、一四二噸
合計	一六、四五八噸	一六、四五八噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸	四、八九〇噸

14.5

189

終